

映文連 国際短編映像祭

映文連 アワード 2013

受賞作品上映会 in 札幌

日時 2014年2月22日(土)

第1部 11:00~ ※開場5分前

第2部 15:00~ ※開場5分前

会場 札幌プラザ2・5

〒060-0062 札幌市中央区南2条西5丁目18番地
TEL 011-231-3388 / FAX 011-231-8268

入場料 前売券 一般 各600円 (大学生500円/小・中・高校生300円)

当日券 一般 各800円 (同上)

※前売券は上映会場、下記問い合わせ先で購入できます。

問い合わせ先：北海道映像記録株式会社

〒064-0808 札幌市中央区南8条西15丁目4番1号

TEL 011-520-1101 / FAX 011-520-1103 / E-mail info@eizo-kiroku.co.jp

主催 公益社団法人 映像文化製作者連盟

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18

映文連アワード2013 受賞作品上映会 in 札幌

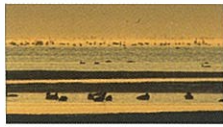
2014年2月22日(土)【会場】札幌プラザ2・5

第1部 開演 11:00

11:00 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】

『瀧沸湖 生命のゆりかご』13分

製作：北海道映像記録(株) / ㈱丹青社
クライアント：北海道



オホーツク海沿岸に位置する瀧沸湖は海水と淡水が混じり合う汽水湖。ラムサール条約登録の湿地、国指定の鳥獣保護区にもなっている湖に飛来する渡り鳥や生息する動植物を四季通じて追う。

11:15 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】

『熊野が大切にしているひととき 低学年書道科』15分

製作：㈱インタラク
クライアント：熊野町教育委員会



「熊野筆」の産地として知られる広島県安芸郡熊野町では小学校低学年の授業に書道科を取り入れた。伝統文化に根ざした書道を学ぶことによって子どもたちはどう変わったか。

11:30 優秀作品賞(準グランプリ)

『いいね! JAPAN』35分(27本中4本を上映)

製作：㈱電通テック



Facebookをプラットフォームとして日本各地で様々な課題に取り組んでいるソーシャルプロジェクトを紹介。「いいね!」と呼べる社会貢献プロジェクトは日本を元気にする。

12:05 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】

『宇宙人 Episode001～009』5分×9本

製作：㈱東北新社
クライアント：㈱ヒストリーチャンネル・ジャパン



JAXA(宇宙航空研究開発機構)で働く人々を追った5分のミニ番組。人工衛星のプロジェクトマネージャーや新人の宇宙飛行士など、それぞれの人にとって「宇宙」とは何か。

12:50 文部科学大臣賞

『Eternal Return -いのちを継ぐもの-』39分

製作：(有)ライブ

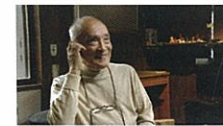


祖父の死をきっかけに少女は子どもの頃、祖父から聞いた宇宙の話思い出す。広大な宇宙空間で繰り返される「星の生と死」。いのちの意味を考えるフルドームプラネタリウム映像。

13:30 審査員特別賞

『詩人 谷川俊太郎』59分

製作：㈱ポルケ
クライアント：㈱紀伊國屋書店



詩人・谷川俊太郎は、80歳を越えて各地を飛び回り、自作の詩を朗読し、女子高生と対話し、絵本を作り、音楽家の息子・賢作と舞台に立つ。詩人・谷川俊太郎に密着したドキュメンタリー。

第2部 開演 15:00

15:00 最優秀作品賞(グランプリ)

『ダイハツコペン3D』9分33秒

製作：㈱東北新社
クライアント：ダイハツ工業(株)



2012年8月に閉鎖された、ダイハツ大阪池田「コペン」工場。その最終稼働週に密着撮影を敢行し、「職人たちの達成感と寂寥感」を克明に映し出した3Dドキュメンタリー。

15:10 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】

『KEEP WALKING THEATRE』36分
(6本中3本を上映)

製作：㈱博報堂プロダクツ
クライアント：キリン・ディアジオ(株)



Johnnie Walkerのブランドスローガン「Keep Walking」を映像化し、メッセージとして届けるプロジェクト。山下敦弘、児玉裕一、河瀬直美監督などが制作に参加。

15:47 部門優秀賞【コーポレート・コミュニケーション部門】

『腸内フローラ その神秘的な世界』13分

製作：㈱電通クリエイティブX
クライアント：㈱ヤクルト本社



無人の研究室から始まる、腸内細菌たちの摩訶不思議な「腸内フローラ」の世界。「腸内フローラ」がいかにヒトの健康に関わるかを訴求する遊び心溢れるPR映像。

16:00 部門優秀賞【ソーシャル・コミュニケーション部門】

『薪とカンタとじいじいと。』16分

製作：太陽企画(株)
クライアント：東邦ガス(株)



ある雪深い村の外れにカンタという男の子とお爺さんが住んでいた。ある日、お爺さんが病気で寝込み、家の中の薪が底をつく。エネルギーの大切さを考える立体アニメーション。

16:17 優秀企画賞

『DNP メッセージ映像「手が創り出すもの」』5分40秒

製作：㈱DNP映像センター
クライアント：大日本印刷(株)



「創業の志」「伝える」「夢」「空気」の4つのキーワードをもとに、モノを創り出す「手」をモチーフに新しい時代に向けた企業のポテンシャルをコンセプト的に表現した映像。

16:23 優秀企画賞

『錯覚から人を知る 計算錯覚学の世界』45分

製作：㈱イメージサイエンス
クライアント：(財)科学技術振興機構(CREST, 計算錯覚学の構築)



「だまし絵」は人が錯覚することを意識させるが、実は、人はいろいろな場面で錯覚している。この映像は7人の「計算錯覚学」の研究者が登場して様々な錯覚を解き明かす。